

# School Life③

堅志学通信  
令和3年第1号

※堅志学とは三原高校における「総合的な探究の時間」の呼称です。

発行日：令和3年7月19日（月）

「三原高校で学んだ私たちの力で、もっと社会を良くすることができる」  
この思いの下、2年生を中心に総合的な探究の時間（堅志学）で、社会への貢献を目指したプロジェクト学習を行っています。自分たちの力だけでは解決の難しい課題も、三原市役所や県立広島大学など地域の方々と協働することで、プロジェクトを進めています。

【令和3年度のプロジェクト】

三原すくすく  
プロジェクト

「人口減少問題」の解決のために、子育て支援の分野で必要な取組みを見童館などと連携しながら実践を目指します。

三原あそまなび  
プロジェクト

子どもたちに「学ぶことは楽しい」と思ってもらえるような企画を高校生の目線で実施することで、「学びの町三原」の実現を目指します。

三原すこやか  
プロジェクト

年齢や障害の有無に関わりなく、誰もが健康で充実した生活をおくることができる医療・福祉の充実を目指します。

歴史×文化×三原  
プロジェクト

三原の歴史や文化などの資源を活用することで、「訪れたい町三原」の実現を目指します。

みはら 2030  
プロジェクト

地域経済分析システム(RESAS)を駆使して、三原の発展のための政策を検討し、地域活性化の実現を目指します。

県立広島大学の先生によるプロジェクト学習入門講座を実施しました。

学生主体のプロジェクト型の研究を実践されている県立広島大学保健福祉学部高木雅之准教授を講師にお招きしました。

目的を明確にもつこと、自分たちだけでなく周囲を「巻き込む」ことで実現可能性が高まることなど、プロジェクトを計画する上で必要なことについて教えていただきました。

県立広島大学の学生さんと一緒に学ぶ「コラボプロジェクト」も進行中です。

